



羽生城歴史めぐり本丸コース



距離: 約 3 km
所要時間: 約 45 分

- ① 大天白神社
- ② 正光寺
- ③ 高山稲荷神社
- ④ 古城天満宮
- ⑤ 源長寺



① 大天白神社(だいてんぱくじんじゃ)

1557年、羽生城主・木戸忠朝(きとただとも)の夫人が安産祈願のために創建したと伝わります。以来、安産・子育ての神さまとして信仰されてきました。



⑤ 源長寺(げんちやうじ)

源長寺は曹洞宗の寺院で、羽生城主木戸忠朝が開基したと伝えられています。江戸時代初期、戦乱により荒廃した同寺を羽生城代不得道可(ふとくどうか)が再興しました。境内には、道可及び羽生城主の墓碑と伝わる石塔が建っています。



② 正光寺(しょうこうじ)

1543年に創建され、浄土宗京都知恩院の末寺で直場山廣應院正光寺と号します。羽生城主木戸氏の母・月清正光大姉(げっせいしょうこうだいし)が開基したと伝えられており、境内には開山塔や月清正光大姉の供養塔が現存しています。



③ 高山稲荷神社(たかやまなりじんじゃ)

羽生城跡に鎮座しています。創建年代は不明ですが、かつて小山の上に鎮座していたことから、城山稲荷とも呼ばれていました。



④ 古城天満宮(こじょうてんまんぐう)

羽生城跡に鎮座する神社で、藤原秀郷(ふじわらのひでさと)が940年頃に創建したと伝わります。戦国時代には城の一郭として「天神曲輪」と呼ばれ、鬼門に位置していることから、羽生城の守護神として祀られていたと考えられます。



～ 生涯を 笑顔で 楽しく 健康に! ～

